紅糧價錢五吊四百文至五吊
市共上車三十餘輛
邊東共來七十餘輛
元平六吊九百至六吊八百

一フールスカップ 全 四圓
一中判洋紙 全 二圓
一半紙野紙 百枚 二十錢
一巻紙 四十枚續 十四錢

一帳簿 三十圓以上
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一厨房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

Payable in Advance. Postage included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

發行所 滿國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日一行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

特別廣告
資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
橫濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
山東丸 三十一日 太沽、芝罘、門司、神戸行
相模丸 六月三日 太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告
吉生丸 三十日 門司行
佐渡國丸 廿九日 門司、橫濱行
萬成源丸 龍口定期
仁壽丸 天津行定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
瀛船營口出帆廣告
千珠丸 廿九日入港
代理店 ブツレユ兄弟商會
東營口公園地橫 遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子布手巾花巾洋䌷火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意倘蒙明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳伸可面議一切事宜幸中外士商鑒其誠實光臨賜顧易勝榮幸之至 總司理人 田中稲之助 謹白
開設老爺閣街同濟醫院內 電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢彙代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡貨輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜營口有輪船一艘名城多利能載重二萬擔如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿 謹白

東永茂
檳榔油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房營業及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚恐遐邇未知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
採辦運各帶火輪船生意兼賣各樣洋什貨糧石等此佈 營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面談是幸 丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許殷運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明價廉中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃（電話九十五番）
西義順棧內 西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌（新設）櫻花牌（諸利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆治來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

矢野洋行
啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現特發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人 啓

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製造各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨具價實以應各主顧之需 飯塚工程局本主人啓

三井
電話 第六十六號 第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話 第六十六號 第九十一號

周
鐵道 遼河 裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱鱗太郎 謹啓

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨皆交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東 櫃開設 營口南永世街北斗洋行
西 營口西北街塘子胡同內

上海 中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠料有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

志岐組木料棧
材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光面議顧請到本棧

工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種

丸重洋行
貨物運輸
啓者本行前在營口辦雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話 營口 拾八番 牛家屯 四拾六番

廣告
今般元神廟街憲甲第二百三十號舊宅合名會社營口支店（澤龜）跡へ移轉仕り外來及入院患者の治療に從事致候此段謹告仕り候也
明治三十九年五月二十四日
酒井醫院 酒井榮次
（電話第一一九番）

今回海陸連絡の便を計る爲め當行瀛船頼朝丸、摩耶山丸、第二攝海丸中國丸の四隻を以て大坂、神戸、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿州內地には左の箇所に出張所を設け海陸及輸送輸出入品委托販賣業に從事仕候に付き陸續御用仰付被下度候也
猶東清鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候

本店 大阪市西區西道頓堀貳丁目 河邊商店
支店 營口元神廟街 松茂洋行
大連信濃町百十一號 松茂洋行出張所
奉天小西門外大街路 松茂洋行出張所
鐵嶺西門外 松茂洋行出張所
昌圖府驛 松茂洋行出張所

東京電報

●通商條約草案 日露通商更改條約草案は已に脫稿せしに付き近日中に駐露本野公使に送付し露都にて協商開始の筈なり

●海軍紀念祝賀會 本日午後一時より水交社にて第一回海軍紀念祝賀會を開き皇太子殿下を始め各宮殿下御臨場ありて參會者三千餘名「日本」と稱する摸造軍艦を食堂に充て海軍に關する各種の餘興ありて稀有の盛會なりし（以上二十七日午後二時十八分發）

●米國大使の國書捧呈 二十六日米國大使ライト氏參內國書を捧呈せり

●ウイルソン氏の歸國 米國代理公使ウイルソン氏二十九日東京發歸國の途に上るべし

●長谷川大將の歸任 長谷川大將昨日東京發歸任の途に上る

●四大官の滿洲視察 野津伊東井上三大將及び西樞密顧問官二十八日橫濱より滿洲視察の途に就く筈

●水交社紀念別報 今日水交社の紀念祝賀會皇太子殿下行啓

●內田公使の談話 二十六日神戶着の內田公使の談に滿洲に於ては既得の鐵道を基とし新民府に吉林に韓國線に連絡を取りて遼河及び松花江に富源を開拓するこそ急務なれ鐵道完成すれば我事業自ら振張せん（以上五月二十七日發電）

●內田公使の着京 內田公使今朝九時新橋に到着せり

大連電報

●海軍紀念祝賀會 昨日の海軍紀念祝賀會は東京を始め各軍港に盛に催されたり（以上五月二十八日發電）

●海戰大紀念會 本日海軍防備隊にて紀念會あり在住官民參列し宴會あり餘興ありて盛會を極む（二十七日午後五時二十五分發電）

奉天電報

●羅暹皇族の來奉 一昨日午後五時暹羅皇族ナコンチヤイシ親王安東縣より來奉日清俱樂部に入る昨午前趙將軍同皇族を訪問し晩我總領事及び軍政官の催しにて晩餐會を日清俱樂部に開けり（二十八日午前十一時二十五分發）

京城電報

●公州暴徒の鎭撫 公州暴徒鎭壓の爲め警部憲兵六十餘名公州城總攻擊に着手せり

●棉花栽培の補助 韓國棉花栽培協會は韓政府より四萬圓の補助を得て本年度より盛に經營す（以上五月二十八日發電）

倫敦電報

●ナタル人の攻擊準備 ナタルに於ては酋長等が許議せし間數日間休戰の姿なりしもバンバタ人の代表者は酋長等に抵抗の繼續を勸めナタル人は今盛に攻擊準備をなしつゝありと

●稅關勅令と英米 ワシントンよりの通信に因れば駐淸米國公使ロツクヒル氏は淸國政府が發せる稅關の勅令に對し英國と協同動作に出づべき訓令を受けたり

●立憲共和黨の提案 露國立憲共和黨は議院に於て各宗敎に十分の自由を與ふべき議案を提出せり（以上五月二十五日發電）

●出洋視察員の近狀 淸國視察委員禁公及び其他はブラツセルに向ひ出發し十日間の後佛蘭西マルセーユに趣き飯國の途に就くべし

●海軍將校の觀迎會 シドニーに於て日本海軍將校は熱心なる歡迎を受け雨天の爲め戶外の催しは中止となれり双方より十五名づゝを出し遊動標的に向て銃點射擊を開き國民射擊會の三〇九點に對する一八六にて日本側の敗となれり。

●キユナルド會社の新航路 キユルド其他東洋及大平洋の滊船會社は合同して東洋及オーストラリヤへ航路を開通せんとなしたり（以上五月二十六日發電）

雜報

●大連通信 五月二十二日 特別通信員

目下大連の問題と相成居るは兩三日前發布されたる棧橋繫船料の事に御座候、其價格は陸軍省の規定したるものゝ由にして其規定の價格たる頗る不廉なりとの說專らに高し、即ち繫留せんとする滊船總噸數其一噸に對し一日の繫船料か錢也、假りに繫留船を橫濱丸とすれば彼れは二千三百噸あるか故に一日の繫船料百十五圓となる三日間を繫留せんか三百四十五圓なり、現今入港の船舶平均積荷噸數は三四百噸位のものに過ぎず、而して積荷三百五十噸と見れば現下の運賃は阪神積、關門積等を突き包括一噸三圓五十錢位の平均にはかならず左すれば此一隻の運貨收入は千二百五十圓也、而かも復航に積荷皆無なり、仍て往航の此運賃收入は目下に於ける汽船唯一の收入に御座候、其唯一の收入の三分の一は繫船料に控除されさるを得すといふことに相成り候ては現今の場合到底引合不申當業者が此事業不廉なる繫船料に反對否折角に使用の途拓けたるに係はらす勢ひ使用する能はさる所以を呶々す事實實際に於て無理ならぬ事に候、然し商船會社は特に補助金を享受し居る事なるにより結局繫船することゝなるべしとの事に候、目下大阪商船の定期船として大連に寄港する滊船は大阪、神戶、門司、大連線分四隻、長崎、釜山、仁川、大連線一隻、橫濱、牛莊線の寄港する者二隻等にして之等船舶の繫留に對する大棧橋繫船料は三万圓を要すとの事に候、郵船及び社外船は斷然繫留せさるべしとの風說有之候▲目下大連の商況は頗る付の不景氣に御座候、殊に信用取引絕無といふ光景に候、信用のゼロ取引の澁滯、商勢の不振、これ大連商業界に於ける異想に御座候▲大連港は將來自由港にす計畫との事、吾人の希望する所に御座候▲近來勸商場の新築さるゝもの露西亞町の商品陳列館を合すれば四軒に相成申候、各々相當に繫昌のたし居候▲現に大連に在る商業として其利益確實而かも貸倒れ比較的に少なきを木材販賣業となす目下蓄積木材最も多くを有するを秋田商會とす同店の現下の在高二千噸尙千噸以上を蓄積せる木材店は早野、上村、三重、中熊、山葉、村井、濵辛等とす以上歷々の木材店及び他の三十餘軒の等の木材在高は通計一万五六千噸、一噸假りに五十圓とすれば之れが價格七十八万圓のものに御座候▲大連の日貫の地に架せられたる日本橋の改築否新設工事は近々の內に着手せらるべくコハ民政署の管掌する所にして其工費十四五万圓との事に候（二十六日發）

●奉天總領事館の開始

奉天總領事館は六月一日盛なる開館式を行ひ翌日より事務の取扱をなす由尙全日は種々なる餘興もあり一々居留民に招待狀は發せざるも參觀隨意なりと

●萩原總領事の北陵行 本月十三日着奉以來多數の訪問客歡迎會開館準備等にて日々忙殺されつゝありし萩原總領事其他館員諸氏は去る廿日の日曜日を利用して騎馬にて北陵行をされしが全日夜來の雨も名殘りなく晴れて滿洲名物の沙塵も立たず郊外散步には持つて來いの好天氣、寫眞機其他に依つて終日英氣を養はれし由

●電信配達の改正 遼陽に於ける公衆電報配達は其の筋の都合を以て從來一日二回なりし次第は既報の如くなるが愈去る二十五日より其都度每に配達する事に改正せられ既に實施中なりと云へば公衆の至便は大なりと云ふべし

●遼陽軍政署の移轉 同軍政署は本月末頃遼陽城內なる十六師團司令部の跡家屋へ移轉の由なるが此と同時に遼陽州官設醫院は同軍政署の跡へ移轉する筈なりと

●貸下家屋問題（遼陽） 遼陽城外貸下家屋二十四戶の還付に關し遼陽日本人會は其の筋と向ひ裏情を具し哀訴嘆願するの止むを得ざるに出で去る十八日嘆願書を其の筋へ提出せしが其筋に於ても寬容する所ありて家屋の位置に依りの速きは本月末遲きは向ふ三ヶ月間の猶豫を與へられ尙は他の貸下家屋六七戶を綜合せ今回還付すべき二十四戶のものに對し公平なる抽籤方法を以て貸下げをなすに決し去る二十日遼陽日本人會に於て此を行ひたりと云ふ

●遼陽日本人會理事 戶水汪氏は他に事業上の計劃あるやにて遺般同理事を辭任したるが本月二十日長濵和吉郎氏其の後任として理事に若任せり

●義捐金を寄贈 遼陽西門外氣樂亭火災に罹り全戶燒失したるのみか同主人和田惠吉妻オワリは全身重火傷を負ひ目下遼陽州官設醫院に入院治療中なる次第は既記の如くなるが同地日本人會は普く在住邦人より義捐金を募集し同人に寄贈したりと云ふ

●遼陽日本人會副會長 代々木商會の小野幸次氏同會の副會長を辭任し評議員互撰の結果林堯賀氏當撰就任せり

●遼陽火災後聞（重傷者一名）

▲出火の發見 商賣柄とて家人の未だ熟睡する午前九時三十分と云ふ頃氣樂亭の表門口より黑煙巻きのぼり火焰の噴き出るを通行人斯くと見て急を告げ家人の始めて夢破りたる時は既に表口は一面の猛火看る〳〵燃立ち黑煙は室內に漲りおりたり

▲通路を失ふ スワ大變と驚き慌て喚き一物も採る間あらばこそ婦人は襯衣男子は裸体の儘辛ふして窓を打ち破ぶり戶外に躍り出でたるもひとり氣樂亭主人和田桑吉妻オワリ一名見當らざるに驚き焦立ち同主人は亦も火煙を冒して彼方此方を潜り拔け橫臥せる妻を漸くに發見し救ひ出したるが同人は既に窒息しおりたりと

▲憐むべき重火傷 オワリは前項の如く火煙に包まれて通路を失ひ窒息したる程なれば其の火傷は全身一面に及び睹るも酸鼻に堪へざるの容態にて目下遼陽州官設醫院に入院治療中なるが一命には別條なかるべしと尙和田桑吉も輕傷を負ひ同樣入院治療しおれり

▲出火の原因 出火の原因は巻煙草 家人皆熟睡中の事とて其の原因は素より知るに由なくも一說によれば表入口に接する客室より發火したるなりと云へば或は其の前夜巻煙草の吸殼の殘場したるが他に轉火したるにあらずやとも云ふ

●公衆和文電報の開始 去る廿五日より左記各通信所に於て一般公衆の和文電報取扱を開始せらるゝ事となり關東總督府參謀長より其筋に通達ありたり即ち其ヶ所は

西旅順　南關嶺　東大連　普蘭店
瓦房店　熊岳城　蓋平　牛家屯
鞍山站　連山關　草河口　大東溝
大孤山　烟臺　昌圖　蘇家屯
高力屯　新臺子　開原

●日本人會後聞 總會の概畧は一昨日の紙上に揭載せし所ありたるが今其後の摸樣を聞くに大井憲太郞氏外一名同會々則第十六條本會々員は各自每月十錢の會費を納付すべしとあるを本會々費は會員の負擔とす補助又は寄附を受くる事を得と修正動議を提出し大多數を以て可決せりと夫れより評議員十一名補欠選擧の議に移りたる所滿場一致を以て瀨川會長に任する事とし瀨川會長は又之れを現在の評議員即ち十九名外に三井の井上泰造都合廿名に依り相當なる人を選擧せしむる事となり其選擧は投票を以て本日午前十二時迄に日本人會にて執行する事に一決し散會せりと云ふ

●一昨日の園遊會 大海戰一週年紀念日をトし一昨日曜日軍政署長官々舍に於て與倉軍政官の主催にかゝる署員一同の園遊會は既報の如く愈々午前十一時より開かれたり當日の來賓は署員一同及び牛家屯駐屯將校諸氏にして無慮二百人と注せられき今其摸樣を記せんに表門會場入口は赤白の幔幕を以て蔽ひ爰にて四本副官一々會釋をなして丁寧に案內せられたり會場は官舍裏の廣場を以て之れに宛てられ數ヶ所の摸擬店各所に散在し牡丹餅菓子店ありビヤホールあり壽し店ありうどん田樂日本酒店ありり休憩所ありて頗る注意周到を極めたり餘興として舞、ロンテニス、擊劍、銃槍、角力、福引等ありて各自好む所に至り或は飲み或は食ひ實に近來稀なる盛會にして各自十二分の歡を盡し散會したるは午後七時頃なりき

●遼輪株式發起人等の出頭 遼河輪送株式會社創立發起人の諸氏は此程記名調印を終り各自袖を連ねて與倉軍政官を訪問し願書を提出したりと云ふ因に其中の某は軍政官の注意に依り發起人中より削除せりと

投書かご

▲日曜日でも爲替を組との話に郵便局に行つたら午後一時まで執務すると明記してあるにも係らず十時頃から一時間も待つて居ても受附束が出て來ないからモー堪らなくなり切手賣係に尋ねたれば日曜日には取扱はないとの聲を聞いた時は胸一杯憤氣がさしたが思ふて見れば先方は御役人樣ではあるし默つて控へたとは言ふもの丶あまり民を馬鹿にした話だ（一貧生）▲松の家の親玉君ところの廣告は松だけに萬古不變とかニヤンとか云ふが西も東も分らぬも久しいもんだ彼是一ケ月には垂んたりだ人間でさへ況や猫に於ておや猫の一年はたしか三日と聞いたニヤンといふもんだ（杉多）▲沒書を憚んで一と思案の後橫向いて口に沒々泡を吹き（桃太郞の弟子）▲五月廿六日の投書籠に平の町の人の所で口を肥やして居る家と言へば湯屋のことだと思ひますがアリヤナカ〳〵惡い奴じやソ！です此の間も其筋の許可も得ぬ新輸入の女に强制的に客をとらしたそうですソンナ奴はドシ〳〵退去を命じては如何です（見タ丁有生）▲平野町の入口に安全燈があつた時分は往來も安全であつたが近頃不景氣の爲めか料理屋の共同安全燈も取のけられ搗て加へて道路へは割石を敷かれたから往來は尙一層危險だせめて滿月の洋燈丈けても明るければ好いに夫れとても紙にて貼り廻して何んの役にも立たぬ往來の爲め將た滿月と云ふ目印の爲め何とか改良し玉へ（往來の一人）

●人の噂（十） 遼河運送株式會社は組織せられた、今軍政署へ出願中なれば、許否未だ詳らない、同社は遼河組合二十二公司の既得權利を尊重する爲めに、一公司每に二十株の優先株を與ふことに規定してある、組合中の或人は優先株では空權利になれば、之を功勞株として株金中に組込むか適當であると論した、余輩は最も穩當なる說と思ふ、定て會社側でも贊成するであろふ、然るに同組合中に、頑冥の馬鹿野郞ありて、執拗にも此說に贊成せない、贊成せないと云へは一個の定見ある樣に思はれど、此連中はノンセンスで、マインドか狂ふて居て、惟た高坂某に惡感情を惹き、無茶苦茶論を唱ふのだ、若し異日會社成立を許可せられて、軍政撤去後に大發展を試みるならは、獨り組合は軍政と倶に寂滅して、蚋蜂取らすとなる、何たる馬鹿野郞ぞ、組合內を攪亂して今日の悲運に陷らしたる、バチルスの所爲だ、組合員の事業を擧んとすれば、一日も早く、バチルスを退去せねはならぬ▲滿洲座の兵士芝居は、中々巧みなもので、先回各地巡業して大喝采を博したことは讀者先刻御承知、今又た總督閣下の歸來を祝する爲めに、旅順にて興行し、大連にて災民救助の爲め、及び各地に巡業するとのこと、今度は營口にも興行する樣に願はし、其の世界は、曾我對面、一條大藏卿、三番の菊畑、重の井子別、毛谷村六助と內定せし由、天機を洩すの恐あれとも、窃かに讀者に御報導申と、干城尙武の兵士の演劇、宜しく渴仰隨喜して拜觀すべきなり▲營口は立派の旅館の澤山あれと、多く淫賣婦の巢窟だ、唯た東雲旅館のみは淸淨無垢の宿屋で、某氏は數十日間同家に泊止したりしも、醜聲を耳にしたことないと云へり、家屋の体裁惡く、下婢のへマなることとは、勿論同家の獨特なれと、朴訥仁に近しと見て差問へない、主人谷口は、古く此地に來り、今旅館料理店の正取締を勸め、一寸と幅の利く男だ、大井馬城か五百餘圓の宿賃を喰仆したるも渠は窮乏を憫みて催促せない抔の俠氣心がある（遼南逸人投）

●撿黴免除出願者の頻續 日々居留民係に出願する撿黴免除或は猶豫出願者續々ある事は豫て記載したる所ありたるが尙昨日の如きも都合五名の出願者あり此摸樣にて推し行かば營口魔界の天地も今に淸淨無垢の別天地に化せんか斯くの如き現象を來たしたるは如何なる原因なるや了知する所にあらされとも例に依つて出願者の姓名及び對手方を記せんに

金波樓下婢鳴瀨スヱ　鳴瀨末吉の妻
第三樓下婢おなか事大西ユキ　帳場の菊田鉢之助の妻千鳥
下婢柳澤キヨ　帳場の安宿乙松の妻吾妻
下婢上田ヨネ　坂井小次郞の妻
高松亭下婢青木キヌ　高松亭料理人塩谷宇之助の妻

日々斯くも多數の出願者中には或は撿黴を厭ひ表面人の名前借をなす者無きにしもあらずやと思はるゝ節もあり萬一かゝる狡猾手段を講ずる者ありとすれば實にお上の眼を晦らます不埒者と云ふべく延いては遊客に對して尠なからざる害毒を流す者なるを以て精探の上充分筆誅を加ふる事にすれば豫め各自に於て注意すべし

汽車時刻

關內外鐵道
上り　營口發前八、三〇　七、〇〇　溝幇子同九、四五　九、〇〇　錦州同后三、四五　二、〇〇　山海關着六、〇〇　八、一〇
下り　山海關發前七、〇五　四、四五　錦州同后三、三五　二、〇五　溝幇子同二、四五　四、四〇　營口着四、三五　七、五一
山海關發前八、一五　北京發前八、〇〇

東淸鐵道
上り　新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、五七　營口發前六、三一　后九、五五　大石橋着同七、三〇　一〇、三〇
下り　溝幇子發后三、〇〇　新民屯着同六、五七　大石橋發前八、一五　后一一、一五　營口着同九、一〇　一二、一〇

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下にて御遊興を願ふ
營口二本町　梅田麵　村瀧太

西海洋服店　歐米各國最新流行形（電話百二十）

諸鐵工製作　鑛山船舶機械鐵工　輕便鐵道附屬鐵工
營口ブリツジ紋定商會　喜川鐵工

天氣豫報
營口地方天氣豫報　自二十八日午後六時至二十九日午後六時
西の風曇り少雨

講演

●滿洲に於ける食肉衛生に就て

陸軍二等獸醫　菊池正助氏述

▲滿洲に於ける食肉需要の盛なる到底日本の及ふところでありません、我か國に於ても宗教的に食肉を禁忌し、一切の肉食を避けて居るもの、あると等しく、滿洲に於ても宗教的に一種類の動物のみ、食する宗教かあります、回々教は其例で牛肉の外、他の肉食をせんのであります、而して該教徒の頑固なる同一塲所同一器物も、異動物の屠殺及ひ調理を忌むのであります

屠獸の景況は漸次增加して、牛は一日三、四頭豚の多い日は五十頭、尠ない日は二十頭位で、平均二十七、八頭位になつて居ります、近來馬、騾驢も二三頭位參ります、右は食肉衛生の大切を會得した爲めでなく軍政令に觸るゝを怖れて屠殺に來るのです、遼陽及ひ附近の食肉需要と、屠殺の比例は近來暑くなつたから減少して居りますが、平均一日五十頭以上の割合に行かんければならん筈だと、或遼陽通は云ひました、之れは全く密殺の行はれて居る結果と思ひます

▲滿洲の食肉檢査は重大なる問題であります、之れ滿洲人の習慣として、疾病などゝ云ふこと、一向意に止めないから、食肉衛生の必要を、彼等の腦裡に注入せんと、日本人も澤山入込んで來るのでありますから、不良肉、病獸肉の販賣を禁制せんと、衛生上に危害を與ふること尠くないと考へられます、今回我々が軍政署附獸醫となつて食肉檢査、獸疫豫防に勉めつゝあるは全くこれが爲めで、左の重大なる責務かあるのです

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

第一家畜の疾病の人身に傳染する危害を豫防することであります、獸病の人身に傳染するもの實に多くあります、故に食肉を輕卒にせる爲め、公衆に危害を與へたる例は多くあるのです、家畜の疾病の人身に傳染するものをあげてお話致ます

一、炭疽　これは人の脾脫疽病であります、人類、哺乳動物、鳥類までも侵し、危險なる傳染病であります、昨年大連で獸醫官が、この病氣で斃れた馬匹を剖撿中誤つて自分の指頭を傷けたので、この病氣に罹つて死にました、右の樣に極めて危險であります、數年前に福岡縣で、本病で斃れた馬肉を食して、多くの人間を殺したのも、全くこの病氣であります、故に支那人なぞに、無鐵砲に斃馬の肉なぞを販賣させては、實に危險でありますから、憲兵、巡査は之か取締に、勉めなければならんのです

二、鼻疽　これは人醫の方では、馬鼻疽と云ふて居ります、本病は滿洲は世界の名產地と云ふても良い位です、人は皮膚、呼吸器消化器粘膜から病毒か侵入、急性經過をとつて斃れます

三、狂犬病　これは人の狂水病と申して犬の咬傷によつて本病に罹る人か多いのであります、病毒は腦、脊髓及唾液にあると云ふて居りますか、本態は未だ分らん疾病であります

四、鵞口瘡　この病氣は罕に家畜より人に傳染致ます、よく小供はこの病氣に侵され易くあります

五、結核病　人の結核病と家畜のものと同症だと今迄云ふて居りましたが近來コツホー氏初め異症だと云ひ議論が八釜しいのでありますが、我々は重きに從ひ本症の病變を呈する臟器は悉く皆燒却致ます

六、强直病　も人畜に發する危險の疾病です、破傷風と云ふも病原は土壤中に存する强直菌で創傷より侵入するのです、近時人畜の本症に罹るもの、少ないのは外科消毒の進步であります、若しも之に罹ると一命は危いのです、又血精療法は効があると云ふて人畜に應用されて居ります

雜報

●貰溜の俄富豪

英國では第一等の旅館(ホテル)や料理屋の給仕でも一週間に四磅(四十圓)の貰ひは同輩の猜嫉(ねたみ)であると言はれて居るのに流石(さすが)は一代分限(ぶげん)の多い米國へ行くと給仕の貰ひが却つて英國あたりの大臣の年俸が多いものが少くないとは驚くべき話であらう此程フランソイ、デユモンといふ男は八萬圓の大金を懷(ふところ)にして米國から本國佛蘭西へ戻つたが此の大金は五年間給仕をした貰ひ溜で五年中の一年聖路易博覽會の間其處のホテルで客から貰つた金は優に英國の大臣の俸給以上であつたといふ此男のかく成功したのは六箇國の語に通じて居たといふ事にも源因して居るであらうが何しろ八萬圓の貰ひとは噓の樣の幸運である

チャルス、ミラーといふ紐育アストルハウスホテルの給仕で此程二十萬圓といふ大財產を以て退隱したといふ尤も此男が給仕を勤めた年限は三十年といふことであるから割合にすればデユモン程には行かぬが何しろ二十萬の貰溜とは一寸驚くべき給仕上りとして傳へられて居るのは數年前死んだヘンリー、ヘドソンといふ男である紐育「ヘラルド」新聞の紀事によると此男の始めて紐育に渡つたのは今より二十年前で當時彼の懷には滿足の肉一片買ふ錢も無かつたが一心の俊さる下等料理店に口を搜し當てゝ一週八圓の給金で給仕に入り込み數年間勤めて後ウヲール街の或ホテルの給仕に住み替へたが性來の頓智と愛嬌とは段々貰ひ高を多くして遂に一年間數千圓の巨額に上りおまけに客に勧められて相塲に手を出したの迄當つて十年の後には二十萬圓の大金持となりそれで給仕を止めて投機一方となり忽ちの中にそれを二十倍の四百萬圓といふ分限になつたと以上の如き例はいくら黄金崇拜國でも多くはないが然し紐育其他米國の大都市の給仕中一年間の貰ひ高が一萬圓位のものは隨分あり紐育あたりの大ホテルの給仕長は實際英國あたりの大臣年俸以上の收入で王侯將相の贅澤暮しをして居るのである先頃某新聞の記事によると一旅客から一度に二千圓の心付を貰つた給仕あり此間カユゼルウイルヘルム二世號の船客の中にも事務員に珈琲一杯を命じて五十圓の心付をやりボーイに葡萄酒瓶の栓を拔かせて四十圓やつた話もある甚しきはパリーの某ホテルで給仕に卷煙を命じ持つて來たとて一千法の手形を與り今一枚の同じ手形を卷いたのを燃してそれで火を點けたといふ大馬鹿の話もある我國にも十圓紙幣を燃して履物を搜したとか待合の女中へ廿圓金貨を投げて與つたとか茶代を三百圓包んだとかいふ話は折々聞えるが然し極々稀の事で貰ひ溜の命利で馬車へ乘り步いて居る話はまだ聞かないのみならず滊車などで一日一夜給仕を追ひ使つて衣裳の塵拂はせて遂に十錢銀貨一つ與らずに降りて了ふ客嗇漢さへ往々どころか始終見受けるのであるから米國に比べると丁度太平洋の彼岸と此岸程違ふのである

●料理屋で毛を燒く

飼犬に手を咬まれるとか何とか云ふ俚諺は曾つて聞く所なるが料理屋で毛を燒くとは今始めて聞く所謂前代未聞の話ならずやとは餘り大袈裟かは知らねがて扨ても滑稽極まる野呂馬もありと長々しき冒頭を掲げて書き出す話は元神廟街の大通りに雜貨並に酒醬油等を商ふ店の主人某四五日以前の夜兼て買馴染の太陽樓と云ふ大きな店に登樓して型の如く酒肴を取寄せ飲めや歌への大散財をなし杯盤狼藉と云ふ塲合に立ち至りしが如才の仲居は夫れと見て藝者仲居共にめくばせ夫れお開きと號令を下せしにぞ女共はゾロ／＼と下り行きし跡は床入りしましよふねと床を敷く暫らくの間之れにてお待ちなされと小火鉢を差付けしより某はソレ結構と引寄せながら之れに凭れて居りしが鱈腹聞召された狂水は頭面に腦に上り何時しかフラリ／＼と居睡を起し果て山にも漕ぎ揚げん勢にて漕ぎ出せしにぞ何ぞ堪らん火鉢の中に己が顏面を以て突貫せしかばコワ如何に眉毛と云はず髭と云はずヂリ／＼と處嫌はず燒きたくり既に人間の黑燒が出來る所に某はアツと驚き女共駈付け見れば眉毛も髭も燒けたゞれ顏一面腫れ上りて見るからに癩病人の如く今にも潰れ相な始末に驚き醫者よ藥と立騷ぎたるにぞ某も飲んだ酒の醉はスツカリ醒めはてコンナに面目を燒く程なら來るのじやなかつたにと小言ダラ／＼に歸り目下治療中なりとは誤念の入つた女郎買と云ふべし

●阿片喫烟者の處刑

佐賀縣人現時第一市塲內雜貨商堀池チサ(廿七)及び長崎縣人現時西北街雜貨商滿人王樹相妾山口シヲ(廿六)の兩人は東雲旅館門前阿片尾陳丸思方に於て阿片吸烟中憲兵に現認せられ拘引取調結了の上領事館に於て審理中の事は既報の如くなるが昨日兩名とも重禁錮一ヶ年に處せられたるも新法規定に準し職權を以て二ヶ年間刑の執行を猶豫せられたりとは難有恩命と云ふべし

●退淸處分

電話賣買詐欺取財を以て永らく領事館監獄署に拘置せられたる山口縣人元電話交換手三由豊一(廿五)は其後審理中の所證據不充分の廉を以て昨日無罪放免となりたるも安寧を防害する者と認められ昨日より向ふ三ヶ年間淸國在留を禁止せられたりと

▲笑話一則

▲切つてと切手の間違　淨瑠璃の阿漕が浦平次住家の段に平と平との讀違ひとの文句があるが茲に切つてと切手の間違ひは去る廿四日の夜第二市塲輕便鐵道切符賣下所と筆太に書いてあるにも係らず當世風のハイカラ男左も橫着な聲音をして切つてくれと窓口に五十錢軍票を投ふり込んだから御一人ですかと係員が問へば應の返事に一人乘り乘車券を渡せし所これは切手かと立腹相に突き戻しけるに係員はお一人り乘りですかと聞きしに應の返事に乘車券を渡したる理由を說明しよく看板を見て來いと言い込められ始めて氣の附きし如くこれは失敬致しましたと平河原の治郎藏か平治に謝つた時の芝居見た如く隨分頓馬な骨の折る役じやわい

▲馬鹿に附ける藥　馬鹿／＼しく惟みざるに天地開闢以來不要のことまで發明さるゝに拘はらず未だこの藥の發見せられざるは人間界の大耻として猫も杓子も誹る所たり吾れ此度びあらゆるはその功確かに鰯の甲に勝ること自分で保證する所たり乃ち賴まれもせぬに餘慶なお世話をやく師屋氣どりて好まぬ人にまで施さんとす登亦馬鹿に親切ならずやさてその藥はと謂へば日々記載の頭陀袋より撒き出す所の陳文漢を一ツ／＼丁寧に、苦い味のするまで嚙みしめさせよさらばその効宛らイカサマ染の色の褪せるが如く顯著なるや疑ひなしアナかしこゆめ人を馬鹿にしたる馬鹿／＼しき咄しと馬鹿になし玉ひそ

廣告

○夕暮の變調　直木まつ子

夕暮にながめ見渡す河岸通り
盡きぬ遼河の舢舨や不潔な
苦力が見ゆるぞえアレ笛が鳴る
笛の音も內地の汽船が來るわいナァ

社告

今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依賴者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門內景祐宮胡同　本社支局
大連盤城町　岡野新聞舖
安東縣新市街　天祐公司
新民府　泰東公司

●森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す(產婆大道しげ子)
院長　醫學得業士　森嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
一本院齒科開設
齒科醫　兒島市郎
森病院　(電話一五五)

大阪商船會社荷客取扱所　外國船舶代理店貸借仲立　輸出入稅關手續
灜船出港案內
盛航丸　廿六日出帆門司直行橫濱行
御乘船の御方は御一報次第切符持參可仕候尚御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候
解船人夫運搬請負　水陸輸送貨物仲次所　諸品委托賣買　倉庫業
西北街　德重洋行

銘酒劍菱
新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也
遼陽停車塲向ヒ
池上出張店

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Eginneer.
Plans and specifications made to order.
Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口南永世街憲第三十六號
北斗洋行質屋部

滿洲第一湯崗溫泉
風景佳絕、旅館、料理、遊技完備
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
○營口—○大石橋—○海城—□湯崗溫泉全停車塲—○遼陽—○奉天

古料理
滿月　平野町(電一六二)
滿月支店　平野町入口
店主　青木勝惠

御料理
板場新來丁料理は高尙ト淸潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ雪月花ト仕舞へ御意ニ從ヒナンデモダス
ゲンシンビヨガイ
まつのや
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ますふで
まつのや藝妓　全　松吉　全　二〇か　義太夫　牛莊
御客樣方

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

ペンキ塗請負
營口豐濟門街李俊宅前
京阪組
榎本康平

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

資本金參拾萬圓
日清合股
昌
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社營口分局
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房
彙辦關內外鐵道又海外轉運（與大清通運公司連接）東清鐵道沿路暨要各站分局現方在設備中倘蒙運貨客愛顧祈貨客親自到本局房及各處分局房面議爲荷特護白倘路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

第三回新荷着
恵比寿ビール
金舛洋行
盛進商行

氷
軍政署御認可濟 田庄臺大盛貯氷公司 飲料好適
發賣元
營口元神廟街成功號三階（電話一三四）
田庄臺大盛貯氷公司販賣部
特約
營口二本町日荘洋行方（電話一六九）
丸山氷室
販賣店
營口永世街（大和館向）
三輪衛生軒

自造 煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
（電話八十六番）

東營口西北街
裕和盛
電話八一番
東清鐵道 遼河 貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール 日本酒澤の鶴
洋酒、食料品 和洋罐詰、食器
内外煙草、葉卷 エジプト、文具
化粧品、金物類 肥前白米、醤油
酢、木炭、其外 色々
卸並に小賣
彩票
每月 大連 鐵嶺 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

美味安價西洋料理
牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
（電話一三六番）
發賣 料米 標子 木板
塩川商會
遼陽小西門内
鹽川商會

●建築用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
外に電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

卸小賣共特別廉價に御願可申候

夏物新着荷揃
三ッ矢印 平野水新着
卸小賣共特別廉價に御願可申候
營口永世街
盛進商行

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーブル ○ペンキ
○洋燈類 ○叉具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醤油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷有大安賣
石
營口西北街
石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

昌圖ノ酒保益田商店員當地へ出張セラレタレ共宿所不明ニ付御存ジノ御方ハ下名ヘ御通知ヲ乞フ
元神廟街七〇號
柴長商店出張所

商號
キ キ キ キ キ
夏もの大賣だし
永世街第貳市場前
木村呉服店
五月二十五日より
六月四日まで
抽籤ヲ以テ景品ヲ呈ス
（電話八八）

白米、醤油、味噌、木炭、酢、
淺草海苔、罐詰、乾物、日用
雜貨、漬物類、清酒澤龜特約
東京タクアン 其外和洋酒類
營口永世街第廿八號
大原洋行
（營口無比廉價販賣す）

和洋道貨及紙類
大販賣
奉天城内鐘樓南大路西
千賀洋行
（電話）

行
天津　北京　山海關着　大連着
御引立の程偏に御願申上候

宮門抄

初一日　理藩院　光祿寺　八旗兩翼值日無引見　溥良等抖晾實錄完竣摺　命吏部呈進月官卷
召見軍機　練兵處遞封奏一件

論說

論蒙小學堂教科書宜經學部審定以端蒙養之基

易曰、蒙以養正。聖功也。語曰、先入爲主。後入爲奴。又曰、少成若天性。習慣爲自然。蓋幼學知識初開。胸無宿物。一經導引其機。即深印於腦筋之中。而不能移易。故爲聖爲狂。視乎初教。或賢或否。在其始基。宋王介甫。以經術誤國者也。而其學問文章。要自不可埋沒。當其與子擇師。凡以爲訓蒙也。竟三年不能得其選。時人或非笑之。目以爲迂。而荊公不恤人言。徑行其意。百折不回。且爲之言曰。童子勝衣就傅。一生之賢否。於是焉卜之。譬築宮牆。始基弗善。將用傾頹。丹堊復施。亦難爲力。無他。其基既壞。雖有巧匠。無所用其功能。縱有良材。莫克完其締造。名言至理。意味深長。不可以其人性情執拗。遂並其佳言懿行。而廢棄之也。在昔我國。雖家自爲學。人自爲教。而學童入塾率先課以四子書。次及群經。再及子史雜集。及詩古文詞。四子五經。詞義奧衍深微。幼齡學童。固屬驟難領會。而聖賢言論。有大醇而無小疵。讀者心解神悟。收功雖緩。似難背道而馳。非聖侮法。所以聖經賢傳。千古常昭。如日月之經天如江河之行地。如布帛菽粟之有益於人。而不可以斯須去今者國家變法。停科舉。廢八比詩賦楷法之虛文。求各國政治工藝之實際。京都設學部。立大學堂矣。各省設學務處。立大中小學堂矣。各府廳州縣。中小學堂。蒙學堂。女學堂。將校學堂。兵士學堂。商學堂。農學堂。礦學堂。鐵路學堂。實業學堂。電報學堂。其他各類學堂。已既遍地林立矣。現復簡派提學使。專司一省學務矣。維新之機。似有蒸蒸日上之勢。而不知上之所以求之者至急。下之所以應之者甚緩。各省學堂。已有卓著成效。堪資實用者。然統全數計之。不過百分之一。人材猶不敷用也。推原其故。緣國家求才甚急。每望其速成。未資其深造。普通學問。初未完全程度既低。遽望其登峰造極。不亦難乎。況新學之與舊學。判然兩途。格乎不能相入。即京師大學堂。進士館各學生。固所稱程度甚高者也。然皆有中學之根柢。而鮮西學之門逕。三年卒業。所得已淺。安能企及精微。升堂入奧。是必由蒙學。而小學。而中學。而大學。以漸而升。使之毫無躐等偏重之弊。而後其功可就。其效可收。有進步而無退化。而其要點所存。其機尤在於蒙學。蓋蒙學爲各學之基礎。近日朝廷銳意興學。其視學堂也。至要且重。乃蒙小各學課程。初無定本。甚非所以爲教也。中國新學。尚在幼稚時代在稍窺邊際者。即思著書立說。編譯之籍。著述之言。純駁交呈。瑕瑜互見。或謬會立言之旨。強作解人。或謬參已意之言。流毒學者。是必嚴其調查。凡新出書籍。無論爲譯爲著。既稱爲教科書。不分大中蒙小等學堂。應用之本。統宜歸學部審定。其詞旨純正。毫無駁雜者。留存備用。其有離經畔道。顯違宗旨。及異說紛歧。莫衷一是。概行刪汰。勿任流行。至蒙學善本。尤以易於啓發童蒙。瀹其靈性爲宗。或撮經傳之大旨。淺顯編輯。或採古人之嘉言。懿括裁成。或以忠君、愛國、孝親、敬長、分類。或以天文、地輿、人事、物理、分類。總期童年學子。易於領悟。速於程功。先入之言。終身爲主。基礎弗固。何以大成。其專門等科。亦宜酌爲參訂。如得善本。事半功倍。其效可以立覩。如無善本。雖孜孜兀兀。終日研求。有不能瞭通其理。稍入其門者。則教科書之所關。不綦重哉。學部爲全國學務之總匯。學堂爲一國人才所從出。於此而不用吾誠。烏乎用吾誠。竊願有學務之書者。於現行之各種教科書。廣爲搜羅。詳加審擇。其最明晰淺顯。合於幼學程度者。頒行各省。即爲蒙小各學堂定本。未經學部審定之書。均不得濫行購用。其有新出書籍。無問經何人著譯。須先呈學部。或各省提學使。審定允准。方許歸學堂購用。其他各項學堂。及大中學堂。所用課讀書籍。亦須學臣擇定。而後行用。如此辦理。庶無學術淩雜。人各異學。士各異趨之患。新學盛行。人才輩出。拭目可竢。指日可期矣。於國家興學作人之意。或亦不無小補焉。

中外要聞

●俄督赴青島游歷　俄國駐京歐提督於初一日出京赴青島游歷

●開築長吉鐵路之風說　據奉省來函云傳聞吉林商紳稟請吉林將軍築造長春抵吉林鐵路已經允准現已開工築路而其資本多係俄欵蓋俄國之意欲以其運動手段煽惑吉省商紳借用俄欵築造此路以他日與日本爲難而留要挾地步云云或言吉林將軍與商紳磋商擬將此鐵路歸華人自辦日前電致外部請照允然外部上年與日本訂約將此鐵路歸中日合辦故歸中國自辦係違約舉動乃電吉林將軍據實批駁傳說如是未悉確否然已有此謠傳未可以謂毫無影響也

●赴外蒙查辦事件　聞蒙古公爵博廸蘇日前請假赴外蒙古查辦事宜並調委商部主政魏震隨同前往襄辦一切昨日業已出京矣

●急宜禁止謠言　各省常有莠民造謠惑衆愚民往往信之或出滋擾莠民乘之橫恣暴行益滋暴動以致貽誤大局比比皆是急宜預防頃聞京師有初一日義和團蜂起襲各國使署之風傳毫無影響未知由何流傳蓋京師首善之區宜嚴禁謠傳預防巨測以安人心然近來謠言紛起人心恐惶頗有妨於治安望有警務之責者赶速嚴究奸宄慎防謠言以維治安

●贛撫致外部電（爲建德獲匪事）外務部鈞鑒前以建德縣鄰境江西鄱陽地方聚有匪徒當經派營保護教堂并飭縣嚴查密拿電陳在案於本月據建德縣李令長郁十八日稟報鄱邑時山地方確有匪徒數百倡立洪蓮會貼示豎旗散發傳單已有百餘人竄入縣境小嶺楊林保等處折毀教民房屋該縣立即督飭勇團於十五日獲匪汪榮周等六人並搜出票布名單當即批飭按名訊取確供如果情罪屬實即行照例嚴辦以昭烱戒又據該縣稟稱自十六日省中所派緝捕營到縣後匪徒聞風逃散所有各處教堂幸皆安堵探知匪蹤竄回江西浮邑之桃墅店並聞立有盤山大會名目黨羽甚多等語查該處係通徽州大道亟應加意防範頃已飛飭該府嚴密堵拿并一面電知江西巡撫請分飭各屬一體嚴拿期絕根株而免滋蔓所有建德縣拿獲匪犯及現辦情形理合電陳乞代奏銘

●韓臣通欵于俄官　韓國前任軍部大臣李容翊氏上年解卸職任後游歷上海更赴歐洲入于俄都近已由陸路至海參威就該地韓僑作寓公與俄官密通聲息尚不敢公然與人接談諒李氏似別有所計畫者云並聞李氏曾在俄都被隨員某等將短槍狙擊其身負傷十五處幸調治得法刻已平愈無恙目下李氏寄電上海催同志亟赴海參威以便咨商一切事宜云蓋圖賴俄官而成其事耳

●各使議濬白河　白河修濬問題雖由各國公舉委員屢次會議然因各國利害不同互持意見久未見定奪遂遷延至今日矣雖然白河修濬問題大津商務盛衰所關爲不可一日緩之急務故各國委員爲大局起見互爲退讓取大同小異決計擬籌欵四十五萬兩以充修濬經費除英租界工部局籌集股票二十萬兩外其餘二十五萬兩由各國商民籌集股銀而此項借款由加抽船舶進口稅逐漸歸還各國駐津領事均以此擬議爲然由領銜領事據情稟請各國駐京公使酌定於是各國駐京公使於日前會同集議然有某欽使等以爲須請本國訓條然後定奪未肯承認故竟未決議而散

雜報

●軍律森嚴　昨聞西城所來人云錦郡西關俱有常備軍隊駐紮該軍隊紀律森嚴兵士嫻雅白晝出游街市購買諸物概不較直給錢物主任其酌留而該商等亦皆公允定價未有故昂其直者其軍律之嚴在於街衢徧設巡查各哨有各哨巡查各營有各營巡查總營務處有各軍巡查哨巡查其哨之十棚巡查其營之五哨總巡查其軍之五營俱有弁員親臨其事閭閻市井依次往來每兵旬日假請公牌出游一次許其買物沐浴等情若妓館烟寮等處一切不准游行凡三小時即須歸營公牌具書某營某哨某棚某兵之名姓歷歷悉載倘遇滋事一望即知其爲誰且回營之後各歸本棚不准越次互相交游免致呼朋引類別生枝節故不能外出滋事軍民頗屬相安云

●鳳岫巡警擾民被控　昨由東城來人云鳳凰城及岫岩一帶所有巡警營兵多是貪殘之輩錢癖之流其凡招募人伍雖由當地抽丁而不是賭徒即係土棍一着巡警衣裝輒若改換心腸更易面目不惟不能衛護本鄉抑且專選肥澤之愚良以魚肉之同類相殘百端苛索其爲之率者故縱若輩肆虐因結怨鄉民深切次骨今春各鄉會向鳳城鳴狀者計三十一起向岫岩州鳴狀者計二十七起鳳城廳尊何公紹卿岫岩州牧丁公立厘接收衆民呈狀均有不勝訊判之勢云

●賊冒巡兵　昨聞苹東花烟台來人云該村魏姓家先人夙得仙傳工治瘵之術遇有跌打損傷車軋馬蹈諸創雖骨碎肋折用犬肉燒酒餌含噴治即刻痊愈不索謝金因有善人之目家稱小康前宵初更時適與三四戚友坐談有慫慂爲葉子戲者尚未設局忽有數人以馬策撾門自稱蓋城巡警營兵迫進院繫馬於樁入室指衆人爲聚賭立搜諸人囊橐得銀圓若干并將魏之金指環兩枚捋手脫下嘯羣而去始知數人俱係賊匪竟冒巡警之名云

NEWCHWANG, TUESDAY, MAY 29, 1906.

FAREWELL.

To-day the "Manchuria Daily Report" has issued its 243rd and, for some time at least, last number, so far as its English column is concerned. For, its alien Editor who has earned a notoriety for mutilating King's English from day to day is about to leave for his home and may or may not return. Life is so uncertain, it would not be for man to speak of the morrow with any certainty.

The Editor shall lay down his abused pen with a mingled feeling of gratitude and sadness. Thankful for the tender sympathy he has received from his friends, which shall be long cherished in remembrance as a treasure. Sad, well, cannot the throbbing heart twinge a bit at the time of parting?

These two notes of the heartstrings, apparently incongruous to one another, blend in fact in sweet harmony and add to the rapt music of life,—to what is worth living for.

He fancies to catch faint echoes of the very same strain gently rising from the sympathetic chords far and near, which puts him in a trance. Should this fancy be a delusion of a conseited mind, it would be more unkind to help him out of it. So keep him there, till we meet again, he hopes, soon. Farewell.

The Siamese Prince will leave Liaoyang early this afternoon for Port Arthur to see the sights at the fortress. It is understood that the Priuce will embark at Tairen without coming to Newchwang.

Dr. and Mrs. Christie of Mukden are soon expected down here to take part in the general mission conference on the 4th prox.

The Bachelors of the Newchwang Club will hold a dance at the Assembly Rooms at 9 p.m. on Thursday the 31st.

We learn that Guyett, General Agent of North China for the Singer Sewing Machine Co. is at the port 'looking over the ground' in the interests of the firm.

Messrs. Ko Lung Co. (克隆洋行) who are agents for Manchuria and are placed under the management of Mr. Ruffio are opening their branches at the principal towns in the province.

The friends of Mr. T. Funatsu who was on the Japanese Consular staff here till last fall will be pleased to learn of his recent promotion to Vice-Coisul, awaiting an appointment to a new consulate about to be opened in Manchuria.

THE LATEST TOKYO INTELLIGENCE.

H.I.H. the Crown Prince proceeded to the Naval Club last Sunday to attend the celebration of the 1st anniversary of the great naval battle in the Japan Sea.

The occasion was also celebrated at every naval port of the Empire.

Mr. Wilson, American Charge de Affaires at Toyko, will leave for home to-day.

Mr. Uchida, the returned Minister to Peking, arriving at Kobe on the 26th inst. is credited with the statement that the first thing to be done in Manchuria, lies in establishing the connection of the Chinese Eastern railway with the Hsinmintun, the Kirin, and the Korean lines, so to develop the natural resources in the Liao and the Sungari valleys.

Mr. Uchida reached Tokyo yesterday morning.

Gen. Nozu, Admirals Ito and Inouye, and Privy Councillor Nishi sailed from Yokohama on the 28th inst. on the intended tour of Manchuria.

The Cotton Cultivating Association of Korea has been granted by the government a subsidy of Y. 40,000 and will soon start work on an elaborate plan.

(May 25, 1906).

The following quotations were out on the 25th last. They remain still nominal.

JAPAN	Bank T.T.	103¾	LONDON	Bank T.T.	2/1¼
	" Dem'd	104		" De'd	2/1 5/16
	P'ate 15 d/s.	105		Cr. 4 m/s.	2/2
SHANGHAI	Bank T.T.	70¾	AMERICA	Bank T.T.	51¼
	" Dem'd	71		" Dem'd	51½
	P'ate 15 d/s.	72		Cr. 4 m/s.	53¼
TIENTSIN	Bank T.T.	103¼	Bar silver	- - -	31⅜
	" Dem'd	103			
	P'ate 10d/s.	102			

All Nominal.

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種册籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉減較之取購本處者其價目格外公道貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口料理店案内（いろは順）

旅館料理　第一樓　元神廟街九十六號（電話八四番）營口ホテル

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

御料理並ニ温泉　一力　毎日新湯　營口永世街　店主　堀万助

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號正金銀行西三軒

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街（電話一四五番）　店主　片山小みつ

旅館　大和館　永世街三十四號（電話十一號）　店主　前田九一郎

料理　瀛洲樓　南永世街第十號　店主　直塚勝一

料理　萬梅　臺灣門街第百〇四號　店主　田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町三百拜九号　店主　和田常松

和洋料理　公樂園　南永世街

旅館料理　金城ホテル　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主　齋藤富次郎

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田留吉

さるそば　第一更科　さるそば　第二更科　營口元神廟街一四三号　住松信大坂　營口元神廟街　永世街鶴の湯角

和洋料理　松月亭

料理　都樓　平野町　店主　坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主　河野嘉吉（電話　號）

會席御料理　高等御旅館　天神樓　奉天小西關大街北側　温泉付大勉強キレーヂアイレヒ（電話　號）

旅館料理店　日盛館　奉天小西關大街南側　館主　入江熊男（電話　號）

旅館料理店　梅松館　奉天城內灰市街東華門宮殿東側　館主　押尾富次郎（電話　號）

御料理　梅ケ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主　辻井ムメ

高等御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店　日章館　牛肉すき燒　雞肉　日章亭　奉天小西關大什字街南へ入（電話　號）

旅館料理店　旭館本店　旭館支店　奉天大西關　奉天十間房　館主　原田新吉（電話　号）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

さるそば　更科　營口支店　奉天小西門外金城館前

御定宿　第二東京館　奉天小西關第五分局八〇一〇號　館主　松田平四郎
今回大改良を加へ旅館専業にし御客様の便利を斗り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　林德松

御料理會席　菊水館　主任　朝枝園提

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀬宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理　色々應御注文　凱旋亭　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽俱樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席御料理　玉家　主任　西野治三郎

和洋料理御旅館　滿洲ホテル　遼陽停車場前七号　上松榮治郎

會席料理　三日月　營口警務課前南に入る

奉天天然清水氷發賣廣告
倉庫ニ儲　毎倉庫約二十五万斤
特約一万斤以上
右發賣仕候間至急申込相成度候
奉天小西門外内　大仁洋行

大勉強
一會席　三ツ鉢吸物附　御一人前銀三十錢より
一まめめし　御一人前二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候
營口元神廟街二〇九號
月日　翁亭

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館　東京樓
店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）
即席和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

DIVING
INOUYE & CO.
Engaging to the work on the wreck of the "Yatsunamaru."
No. 166 Yuwansinmiao, Yingkow.

井上組潜水部
現今八綱丸引揚作業中
傍ら一般潜水作業の需に應す
元神廟前一六六號

和洋會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位樣

旅館御料理　扶桑館
奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号
館主　堀田
電話八号

遼陽城內東街
一和洋御料理　遼東館
本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勧に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

（營口永世街）
回天堂三木大藥房
存案　招牌　天
經營項目
●各種靈驗丸散膏丹
●東西兩洋各種藥材
●各樣玻璃瓶子
●各種繪具染料
●消毒及繃帶材料
●肥皂（胰子）牙粉白粉香水等貨
●醫化諸學所用機器
●照相所用藥料及機器
●此外醫藥應用所有一切各貨一應俱全
（電話百九十番）
凡所備置各貨均皆實心撰擇料正品務期平價發兒而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤尚此佈告

高等麦酒スペシヤルライト
スペシヤルラヰトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尙夏期唯一の好飲料なり
釀造元　大日本麥酒株式會社
滿洲特約販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

新荷着

廣告
大阪鐵田組支店開設
今度新に内地より技師及職工を傭聘し土木建築一切の受負業務開設候に付大小に拘らす御注文の程奉祈上候
假事務所營口西北街高砂ホテル内
主任　鐵田米吉

高等雜貨各國
電話百五十四番
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種　籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山
營口永世街
洋行雜貨部

爲替相場（五月二十八日）
日本向　百〇三圓（軍票百圓に付）
上海向　七十一兩（同）
天津向　一百〇四圓十二錢五厘（百弗に付）
芝罘向　一百〇三圓五十錢

日本品最近物價表　加藤洋行
紙類
半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
美濃紙　一〆　七圓五十錢
仙花紙　全　一帖（六十枚）　六十錢
塵紙　一〆　一圓七十錢
全　状袋　二十枚綴　三錢二厘以上四錢
　百枚　十三錢以上十八錢
室內裝飾品及寢具　矢野洋行
一帶圓　三枚組　六圓九十錢以下六十五圓
一座ブトン十帖　八圓五十錢以上三十五圓
一野爐　五圓五十錢以上十四圓
一疊　一薄椽　二圓六十錢以上三圓
一麻緣通　十枚　八圓
一綿緣通　全　一疊敷　三圓
一由加多織　全　三圓五十錢
一白毛布　二枚　一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ケ月前金　銀八十仙
半ケ年前金　四弗八十仙
一ケ年前金　銀九弗六十仙
廣告　二十字詰一行一回　銀二十仙